

「ウルトラマン」というと、皆さんは「シュワッチー」を想像されると思うのですが、トライアスロンにもそんな大会があるのを、トライアスロントリップ(専門誌)の日本女性参戦記を読んで知りました。

イギリス、カナダ、ハワイで開催され、ハワイは2カ国のチャンピオンシップです。大会は3日間連続競技で、各日制限12時間、1日目はオーシャンスイム10km→バイク150km、2日目はバイク280km、3日目はラン84km、となんとゴージャスな大会!!

26年続き、日本人の完走者は彼女を含め79名。我らがMr.KTC坂尻さんもその一人です。

応募資格は、イギリス、カナダの完走者もしくは、アイアンマンを18ヶ月以内に完走したもの、となっています。募集は、たった40名。大会事務局が書類選考をし、招待状を受け取った幸運な人(…?)のみ参加できるのです。

今年は早くから徳之島に出場予定でしたが、3月末に急遽、Ironman Koreaの開催が決まり、同日開催の徳之島から変更したのは、その18ヶ月の参加資格を得るためでもありました。招待状が来る可能性はない、と踏んでいます、野次馬根性で来年エントリーするつもりです。当たったらどうしよう…(汗)。

Ironman Koreaはハーフアイアンマンも同日開催でしたが、相方は「私もアイアンマンじゃ～」と私の心配をよそに大胆にもエントリー。

7年前のIronman Koreaは殆どの選手が日本人という様子でしたが、今年は韓国人約500名、日本人約200名、オーストラリア人54名(カーボパーティーの時、隣のオーストラリア人が教えてくれました)、その他、Asean諸国や欧米人、遠くは、ブラジル、南アフリカ、ジンバブエと、1000名近い選手が集まる国際色豊かな大会に変貌しておりました。

ハワイスロットは、日本人も健闘していましたが、若い世代はスロット狙いの欧米人に持っていかれ、年配でかろうじてゲットしている状態で、我が家は、全くおよびではなかったです。

ちなみにオーストラリアでは、自国のアイアンマンに出場するための予選大会があるそうで、誰でもウエルカムのアジアの大会は魅力的だそうです。気合も入っていたし、レベルも高く、多くの人がハワイスロットを持って帰っていました。Ironman Hawaiiはますます遠くなっていきます。

レースを振り返ります。

雨も降らず、薄曇りで、時々晴れというありがたい大会でした。しかし、コースは大きく変わっていました。スイム会場は、ゴール会場の中文から約10km離れた海水浴場を2周回。プールで泳いでいるかのごとく穏やかで泳ぎやすかったのですが、私のタイムはイマイチ。原因は、身の程をわきまえず最前列に陣取ったためです。揉まれっ放しで疲れました。早く泳げるようになり、ダンゴ状態から速く脱出したいものです。(スイム1時間20分)

スイムアップし、バイクバックを探します。な、な、なんと、私のバッグがな～い!!!!

「俺のバックはどこや～?」と叫び続け、探し続け、しばらくすると、マヌケ顔のオッサン選手が来ました。差し出すバックの番号は745!オレのやないかい(怒)!!!

バイクコースは、90kmを2周回。途中峠を長くゆるくした、皆生のジェットコースターのような道が続きます。坂道が得意な人には有利なコースです。

スイム会場から、いきなり長い坂道が始まります。上るか下るかで、ほとんど平地がありません。国道片側車線の右側1車線を使ったコースで、仕切りは赤のコーンのみ。高速道路を走行したIronman Singaporeと同様に車が真横を走行するため、怖い怖い。コーンにぶつかる人、右折の車にはねられる人も見ました。

なかなか追いつけなかった相方を1時間40分後に、あっさりと抜き去りバイク終了。(5時間59分)

そうそう。相方が、バイク90km地点のスペシャルエイドで補給食を受け取るために止まった時、道路に車座に座っている20名以上の韓国人選手の集団と遭遇。驚いたことに、なんと、彼らが手にしていたのはキムチの缶詰とレトルトのお粥!!!エネルギー補給というか、大宴会状態だったそうです。その楽しそうな人たちを見て、相方は、レースはエンジョイしなくちゃなあ…、と思ったそうです。

重要なランパートに移ります。コースはバイク同様、上るか下るかで平地がほとんどなく、世界中のIronmanの大会の中で一番過酷なコースとのことでした。今年は、初めてバイクで小浜往復後→ランは鞍馬往復をこなせるようになったので、内心密かに爆走を期待していたのですが、今回もアカンかった…(涙)。殆ど歩くことなく、走り続けたのに5時間29分。

それから、待つこと1時間。相方が満面の笑みで帰って来ました。無事に2人とも完走。

昌子 スイム1:05:41 バイク7:15:15 ラン5:24:07 Total:13:54:36

文雄 スイム1:20:18 バイク5:59:09 ラン5:29:48 Total:12:59:36



韓国は、日本同様、食文化の豊かな国だと思います。

焼肉(濟州島は黒豚が有名)などを注文すると、キムチとナムル数種類にニンニク、包み野菜、ごはんに味噌汁(韓国では基本的にメイン料理以外は全てお店のサービスで食べ放題)が並び、レース前なのにビールがスルスム。。。



話は変わりますが。

カーボパーティー、日本人説明会、アワードパーティーと3回紹介された特別な選手がいました。イナダさんという79歳最高齢の出場選手です。ランニングと水泳は、以前からされていたようなのですが、70歳の時に、自転車を購入してトライアスロンを始められたそうです。

2年前、77歳で長崎五島のアイアンマンに初チャレンジ。15時間2秒と制限時間より2秒足らず、惜しくもDNF。Ironman Koreaの制限時間は17時間ですので、今年は15時間2分と余裕の完走。リベンジされました。もちろんハワイスロットゲットです。今年のハワイの最高齢かもしれません。

70歳にして未知の競技にチャレンジ。77歳にして過酷なロングにチャレンジ。すばらしい。私も勇気と希望をいただきました。

私は、年に1度はロング完走を目標にしています。そして70歳くらいまで続けられたらいいな～、と思っていましたが、イナダさんを目標に頑張ります。

イナダさんをお願いして、一緒に写真を撮っていただきました。この写真は、くじけそうになった時に眺めるつもりです。



来年もまた済州島に行く予定です。皆様も一緒にいかがですか？